

REPORT
**哲ちゃんの
現場
リポート**

がんばる県民のみなさまに感謝。
ふるさとの魅力を再発見!

令和2年6月1日(月)

(金沢市)
金沢港クルーズターミナル開港

展望デッキからの風に癒やされました。

令和2年8月1日(土)

(能美市)
いしかわ動物園リニューアルオーストラリア平原がリニューアルし、
バック内に入れるようになりました。

令和2年9月12日(土)

(金沢市)
五郎島さつまいも感謝祭

加賀野菜を代表する「五郎島金時」の豊作に感謝。

Tetsuya Nagata Profile

1959年9月26日 金沢市生まれ。石川県立金沢二水高校、立教大学卒業。1984年北陸放送(株)アナウンサーとして入社。2019年4月7日石川県議会議員選挙で初当選。2019年8月30日自由民主党に入党。趣味はゴルフ、金沢市畠東在住。

自由民主党石川県議会議員協議会

所属委員会 / ●商工観光公安全委員会 ●議会対策推進委員会
●観光・文化スポーツ・海外対策特別委員会

少しずつですが地域のみなさんの声を実現したいと動いています!これからも声を聞かせてください。

Nagata ナガタ スコアブック

発行者 長田哲也 事務所
〒920-0348 金沢市松村1丁目7 ブラザーハイツ205号
TEL.076-208-3715 FAX.076-208-3716



9.24県議会定例会一般質問にて

**コロナ禍における
県財政の現状や
金沢港の発展など
気になる点を質問。**

**1 県財政の状況に
ついて聞く!**

県はこれまで積み増してきた財政調整基金のおよそ9割を取り崩し、新型コロナウイルス対策費用として手当てしてきた。そして、今後の不測の事態に備えておよそ44億円を確保した。一方で、9月補正予算では同規模の43億円を借入するとしている。これは、県債で賄わなくても先ほどの44億円で手当てすれば借入の必要はないと思うが、その使い道を聞く。

**総務
部長** 新型コロナウイルス対策はもとより、近年自然災害が多発していることを踏まえ、県民生活の安全・安心の確保のため、治水対策をはじめ災害に強い県土の基盤づくりをさらに促進する。そのため、緊急輸送道路の整備など道路関連に多額の資金が必要であり、今後も行政改革の手綱を緩めることなく、最小の経費で最大の効果が上げられるよう取り組んでいく。

ライトアップされた金沢港クルーズターミナル

**2 港周辺の街づくり
には分区を!**

金沢港クルーズターミナルはクルーズ船が寄港しない中にも大勢の人で賑わっている。去年の一般質問で、金沢港の分区の必要性について提案し、部長答弁は「他港の状況も含めしっかりと勉強したい」とのことだった。賑わいづくりに向け次に行うのは分区条例の制定、既に結論が出ていたのでは?

**土木
部長** さらなる賑わいの創出に資するまちづくりの方向性について、市と連携し、範囲や場所にどのような手法が適切か検討している。クルーズ船が寄港する全国の港を調査をした、主要な港の多くでは分区が設定されているが、工業や物流を中心とした港では分区を設定しておらず、各地域の実情を踏まえた対応がなされている。金沢港周辺では既に工業、物流など港湾を活用した企業を中心に土地利用が進む。賑わい機能を高める手法を検討する際には、既存の立地企業などに及ぼす影響などを十分考慮する必要があると考える。

その後 10月28日金沢経済同友会の席上、知事が「分区」指定する方針を示す。

翌朝、県からも電話連絡でその旨伝えられる。

分区とは…… 臨海地区内において、目的の異なる建物が無秩序に混在することを防止し、港湾の多様な機能をそれぞれ十分に発揮させるため、臨海地区を機能別に区分するものです。分区の種類には「商港区」「クルーズ港区」「マリーナ港区」「修景校正港区」等があり、港湾管理者(県)が指定します。

石川県議会議員 長田哲也 県政報告

Nagata Scorebook

ナガタ スコアブック

地域のために
全集中!石川県議会議員
長田哲也

佐奇森町には安原川が合流する場所で、豪雨の際に越水する可能性を住民が不安に思っている。

犀川下流域など浸水の危険度が高い地域の住民にどういうふうに周知して、対応してもらおうのか。次善策を積極的に講じていただきたい。

**谷本
知事** 県では国が示した想定最大規模の降雨に基づく洪水浸水想定区域図を基礎に洪水ハザードマップの見直し作業を今月中に全ての市町で完了する。

県、市や町の取組みを支援するために新聞やテレビなど様々な広報媒体を活用して周知に努めると同時に、積極的に県政出前講座などを開催している。住民に加え、企業や地元の自主防災組織に対して、周辺地域の危険度、適切な避難について直接説明するなど、住民の防災意識の向上に取り組んでいる。

今後とも市や町と密に連携しながら、水害時の逃げ遅れゼロを目指して適切な避難につながる対策の充実強化に取り組む。



犀川下流の赤土大橋

3月予算委員会にて

1,000年の一度の降雨の浸水災害を想定!?

犀川下流域の 治水対策について



質問 「二ツ寺町と袋畠町の河川があふれると怖い」と住民から整備の要望が出ているが、改修工事は進められているのか?

**土木
部長** 犀川の改修整備に当たっては、改修区間4.4キロの全体の治水安全度のバランスを考慮しながら段階的に整備することとしている。袋畠町についても新たな堤防の整備を優先して進め、工事を行うことになる。本区間全体の堤防整備が完了した後に川幅を広げる工事に入りたい。



3 新型コロナ検査 の円滑化について

質問 新型コロナウイルスの検査をかかりつけ医でも気軽に受けられるようにと、県医師会と集合契約を結び、病院やクリニックが参加を決めたが、実態は検査希望者を完全に隔離できるスペースや、専門の医療スタッフの確保など負担がかなり大きい。個人クリニックではまず不可能との声も聞かれる。医療機関でスタッフが感染した場合の補償などを聞く。

**健康福祉
部長** 二次補正の予備費により診療・検査医療機関が専用の診察室や診療時間を設けるための経営面の支援や必要な防護具の配付を行うほか、医療従事者が感染した際の労災給付の上乗せ補償保険の保険料に係る助成など、医療機関へのさらなる支援の拡充を図る。

その後 県内8.9.10月3ヶ月連続で4,000件台を維持。検査が受けやすい環境に。

4 能登牛 認定レストランが消滅!?

質問 コロナ禍で能登牛認定店の販売実績が低下し、県の認定規定をクリアできず、更新が厳しい現状だ。認定の基準の見直しが必要ではないか?能登牛だけでなく県産ブランドとしてルビーロマンや加賀しづくなどの販売状況とブランドイメージを保つ姿勢を問う。また、Go-To-Eatキャンペーン事業について1戸に複数世帯の家族も多い中、全戸配布の引換券一枚では1世帯に1枚行き渡らないのではないか?

**谷本
知事** 料理研究家とも連携して県産ブランド農産物の新たな楽しみ方を提案するイベントも開催し、ブランド化推進条例に基づき県民の理解をつくり上げながら、ブランド価値の向上にしっかりと取り組む。

**商工労働
部長** Go-To-Eatキャンペーンについて、二世帯住宅などには引換券が届かない場合も想定され、専用のコールセンターを設け、対象者には新たに引換券を発送する考えである。

コールセンター TEL.0120-559-780

5 ドローンの活用 について

質問 今やドローンは災害時や行方不明の捜索など警察でも活用が期待されている。消防や警察では時間をかけて自前で撮影と操縦の両方のプロを育てる苦労を選ぶのか。餅は餅屋に任せるのか。防災と警備、それぞれ立ち位置に違いもあるが、双方の現状と所見を聞く。

**危機
管理監** 各消防本部に操縦経験を積んだ職員を配置し、火災状況や行方不明者の検索等に活用。今後とも消防学校でドローン操縦研修を実施し県内の消防機関の活動を支援したい。

**警察
本部長** 県警では警備部門や各部門の実務担当者で構成する組織横断的なワーキングプロジェクトを設置した。安全面等に関する諸課題について様々な検討をしたい。



金沢港について知事に再質問
「金沢港周辺をシャンゼリゼ通りのように」を実現!

石川県Go To Eatキャンペーン食事券

食事券1冊10,000円で
12,500円分
利用できます。

各戸に配布された「プレミアム付き食事券購入引換券(はがき)」を石川県内247の郵便局にお持ちいただき、お買い求めください。

2021年1月31日(日)まで販売・2021年3月31日(水)まで有効